



①源頼政とあやめ御前に扮する二人
②アクシスかつらぎでは芸妓連による華麗な踊りが ③沿道を埋め尽くす古奈の踊り衆 ④花火が祭りをより華やかに ⑤主役は僕！

温泉街が熱く盛り上がった 3 日間

7月5～7日 あやめ祭が開催

78 回目を数える『源氏あやめ祭』が、伊豆長岡温泉を舞台に開催されました。

3 日間にわたり開催された同祭は、芸妓連による華の舞や歌謡ショー、中学生によるソーラン、地元町内会による踊りなどで盛り上がりました。

また、今年は6日、7日に花火も打ち上げられ、祭りに一層の彩りを添えました。

市長と話ができる貴重な機会

7月2日～ 市政懇談会を開催中

市では、7月2日から市政懇談会を市内各所で順次開催しています。初回の大仁区では約100人の市民が参加し、懇談会では市長に率直な意見を述べたり質問をする姿が多く見られました。

市政懇談会は、市長が市政方針などについて説明するとともに、皆さんと率直な意見を交わす貴重な機会です。8月は葦山地区で実施の予定です。皆さんお誘いあわせのうえ、ご参加ください。



弓道愛好者 180 人が参加

7月7日 市制 10 周年記念プレ弓道大会が開催

静岡県弓道連盟伊豆の国支部主催の弓道大会が、狩野川リバーサイドパーク弓道場で行われました。県内はもとより、東京や神奈川、山梨などから約 180 人の弓道愛好者が参加。日ごろの練習の成果を発揮しました。

同大会は、伊豆の国市制 10 周年記念プレ大会の一環として開催。毎年、あやめ祭りと同時期のため、これまでもあやめ祭奉納大会として開催しています。



▲職員を前に、抱負を語る鈴木副市長

伊 豆の国市副市長として、鈴木好晴氏（奈古谷）が就任しました。辞令交付を受けた鈴木副市長は、就任式で職員を前に、「小野市長から、職員の育成と市役所を元気にすることを指示された。風通しの良い職場を作り、職員の個性や特性を引き出し融合させることで、市役所を元気に、伊豆の国市を元気にしていきたい」と抱負を語りました。

同氏は昭和49年に静岡県庁に入庁し、平成24年3月の退職までに合併支援室長や静岡県経営管理部理事などを歴任。平成21年4月から24年3月までの3年間は沼津市の副市長を務めました。

なお、任期は、平成25年7月1日から4年間で。

副市長に鈴木好晴氏就任
7月1日
市の舵取りを担う三役揃つ



◀市の舵取りを担う三役
左から河野教育長、
小野市長、鈴木副市長



▶小野市長から辞令交付を受ける

市民同士で交流深める

6月29日 長岡京市自治会長会と交流

伊豆の国市の姉妹都市京都府長岡京市の自治会長24人が、研修の一環として来市し、本市の区長ら役員と長岡総合会館アクシスかつらぎで、情報交換会を開催しました。

『地域の防災』をテーマに、本市区長会の代表2人と市職員が、区ごとの特色ある防災訓練の内容や市の防災についての事例発表を行い、活発な意見交換を行い交流を深めました。



声援を受け、約 240 人が力泳

6月30日 伊豆の国市水泳大会を開催

今年で7回目を数える市水泳大会を、長岡温水プールサンゆうで開催しました。園児から70代まで約240人が出場しました。

大会は、板キックや自由形、平泳ぎ、バタフライ、個人メドレーなど9種目で競われました。選手は家族や仲間からの声援を受け、それぞれの目標タイムを目指して力いっぱい泳ぎました。同大会は、生涯スポーツの振興などを目的に、毎年開催しています。

